

三菱自動車、ラリーアート復活第一弾となる特別仕様車をタイで発表 ～『トライトン』と『パジェロスポーツ』に「ラリーアート」を設定～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、同社のラリーアートブランド復活第一弾として、1トンピックアップトラックの『トライトン』*1とミッドサイズSUVの『パジェロスポーツ』*2に特別仕様車「ラリーアート」を設定し、本日から12月12日までタイ・バンコクで開催される第38回タイランド・インターナショナル・モーター・エキスポ 2021 に出品、12月1日より販売を開始します。

*1：一部の国・地域では『L200』として販売

*2：一部の国・地域では『モンテロスポーツ』として販売



ラリーアートは世界ラリー選手権やダカールラリーを通じて、三菱自動車の走りスタイルを磨き上げてきました。新生ラリーアートはかつてモータースポーツシーンで培ってきたブランドイメージを受け継ぎながら、まずはアクセサリ用品の販売事業を中心に展開し、自分らしい走りやスタイリングを求めるお客様へ、三菱車オーナーだけが感じられるワクワク感をお届けしていきます。

今回発表する特別仕様車は、三菱自動車の世界戦略車である1トンピックアップトラック『トライトン』ならびにミッドサイズSUV『パジェロスポーツ』をベースとし、かつてラリーに参戦していたワークスカーを彷彿とさせるレッド、シルバー、ブラックのストライプ調ボディサイドデカールやレッドのマッドフラップをはじめ、ラリーアートロゴをあしらった内外装アクセサリを特別装備しています。

当社社長の加藤隆雄のコメント

「三菱自動車、そしてラリーアートファンみなさまへ、ラリーアートブランドの新しい商品をお届けできる事をととても嬉しく感じております。このラリーアート復活第一弾となる特別仕様車に続き、魅力的なラリーアート商品を順次投入し、さらにはこのブランドのスピリットを感じられるような活動を検討しておりますので、新生ラリーアートにどうぞご期待ください」

商品概要（タイ仕様）*3

*3：車両の仕様と機能はグレードや市場によって異なる場合があります。

[両モデル共通の特別装備内容]

エクステリアでは、往年のラリーアートモデルを彷彿とさせるサイドデカールをはじめ、三菱自動車らしさを印象付けるラリーアートロゴ入りマッドフラップを採用しました。また標準モデルと差別化を図るべく、フロントグリル、アルミホイールをブラックで統一しています。インテリアには、ラリーアートのロゴや、オーバーロックにレッドアクセントをあしらったフロアマットを採用しました。

『トライトン ラリーアート』

- 『トライトン』のクラブキャブ（メガキャブ）およびダブルキャブのローライダー仕様をベースとし、上記の共通装備をはじめ、レッドのアクセントカラーを加えたフロントバンパーガーニッシュ、ならびにベッドライナーにはラリーアートロゴをあしらい、ツートンカラーモデルにはブラックのドアミラー、ドアハンドル、リヤゲートハンドル、リヤバンパー（クラブキャブのみ）を装備。『トライトン』の力強くダイナミックなスタイリングをさらにスポーティに仕立てています。
- ボディカラーはソリッドホワイトとブラックルーフのツートンカラー、およびジェットブラックマイカの2色を用意しました。



『トライトン ラリーアート』（ダブルキャブ）

『パジェロスポーツ ラリーアート』

- レッドのアクセントカラーを加えたフロントとリヤアンダーガーニッシュにはラリーアートロゴをあしらい、ツートンカラーモデルにはより引き締まった印象を与えるブラックのフェンダーアーチモールディング、ルーフレール、シャークフィンアンテナ、テールゲートスポイラーを装備。エレガントなスタイリングの『パジェロスポーツ』にアグレッシブでスポーティな印象を与えました。
- ボディカラーはホワイトダイヤモンドとブラックルーフのツートンカラー、およびジェットブラックマイカの2色を用意しました。



『パジェロスポーツ ラリーアート』

以上